

ゲストティーチャーをお招きして (NO.2)

3月17日(金)に、地域の方(元加古川市教育長山本勝様と平荘町町内会連合会会長谷川一成様)をお招きして、6年生が総合的な学習を行いました。

後半の授業は、『6年生のみなさんに贈ることば』です。昔からの有名なことばを教えてくださいました。



『論語』 *相手の気持ちになって考える

最初に、『論語』について学習しました。

『論語』は、今から2500年以上も前に中国の孔子とその弟子の問答を孔子の死後およそ300年後に、弟子たちが書き記したものです。『論語』が記されたのは、紀元前5世紀頃ですが、21世紀の現在でもなお広く語り継がれています。

人の生きる道や考え方、道徳などについて記されており参考にしようとする人が多いです。

子曰わく、
 「一言にして以て終身之を行ふべき者有りや。」
 「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」

『論語』では、「仁・義・礼・智・信」の五徳(ごとく)または、五常(ごじょう)という5つの徳が登場します。五徳は、簡単にいうと人が生きる上で大切なもの、目指すべきもの、守るべきものということだそうです。「仁」という思いやりの心、「義」という正義、「礼」を忘れないこと、「智」を備え 物事を正しく判断すること、「信」頼られるような誠実さが大切だと述べられています。中でも特に重要視されたのが「仁」だそうです。

『論語』は、「子曰く(のたまわく：孔子がおっしゃるには～)」で文章が始まるのが特徴です。



生きていく上でいちばん大切なことをひこの言葉で言うとしたら、何でしょう。それは「思いやりの心」です。自分が人からされたら、いやだな、と思うことは、人にはしてはいけません。いつも相手を思う、いたわりの心を持てたらいいですね。

先生と一緒に、『論語』を素読しました。6年生の子どもたちは、短い時間の中で何度も何度も『論語』を声に出して音読しました。

最後には、暗記をして、みんなの前で発表する子もいました。



むすびに

「6年生のみなさんが、これからの人生をしっかりと歩いていけるように念じて」と、次の2つのことばを教えてくださいました。

意中人有り

腹中書有り

『意中人有り』は、尊敬する人を持つということです。～みたいな人になりたいなと思うことです。

『腹中書有り』は、おなかの中にしっかりとした考えを持つということです。

最後に、地域からのゲストティーチャーの先生方と子どもたちと一緒に『平荘行進曲』を歌いました。6年生の子どもたちにとって、素敵な時間を過ごすことができました。

＜6年生の子どもたちの感想より＞

- 「平荘行進曲」があることは知っていたけれど、どのような曲なのかは知らなかったのを知れて良かったです。そして、平荘町の地区の名前が歌詞の中に入っているのがびっくりしました。「二宮金次郎」とずっと呼んでいたけれど、「二宮尊徳」という呼び方を初めて知って、これからは「二宮尊徳像」と言ってみようかなと思いました。中国の大学や論語がとても良い言葉ばかりで、とても心に響きました。中学生になったら、「思いやりの心」を持って友達に優しくできる人になりたいなと改めて感じました。
- 二宮金次郎のことについて、少し詳しくなれて良かったなと思いました。平荘行進曲は初めて知りました。学校の木のやつ（廊下の壁面の卒業制作）が歌詞であることは知っていたけれど、地区の名前が書かれていて驚きました。今と昔とは地名が全然違って面白かったです。平荘小学校を卒業する前に、平荘行進曲を聴けて歌えて良かったなと思いました。
- 僕達のために、こんなことをしてくださってとてもありがたいなと思いました。そして、二宮金次郎像のことを詳しく紹介してくださってとても嬉しかったし、わかりやすくてありがたかったです。また、平荘行進曲が、九番まであって、とても覚えるのが大変そうでした。本当にありがとうございました。
- 二宮金次郎の読んでいる本である「大学」の意味がわかって、他の本も調べたいなと思いました。
- 二宮金次郎さんの読んでいる本の内容がわかりました。「大学」の内容を大切にしながら中学校でも頑張りたいです。とてもわかりやすかったです。
- 私は、山本先生が言っていた「大学」の言葉、論語の言葉や、(六中観の)「意中人有り」「腹中人書有り」という言葉がとても心の中に響きました。山本先生の話を聞いていると、とてもワクワクしました。
- 二宮金次郎像の本の内容が「大学」ということがわかりました。また、論語をこれから大切にしていきたいと思いました。そして、「意中人有り」「腹中書有り」も覚えておきたいと思います。
- 平荘のことを改めて知りました。みんなに「ありがとう」といって、感謝するということが心に残りました。金次郎さんの「大学」のことも知れてよかったです。
- 平荘小学校に6年間いて、二宮尊徳(二宮金次郎)のことをあまり知らなかったの、とてもすごいなとびっくりしました。本の中身や論語もすごいと思いました。「意中人有り」「腹中書有り」の言葉も心にぐっと来ました。
- 「意中人有り」「腹中書有り」という言葉を教えていただき、僕は、何か頭の片隅に本を入れておきたいと思いました。僕は、平荘行進曲という曲の歌詞を初めて知ったし初めて歌いました。
- 僕は、二宮金次郎や昔の学校の様子を知らなかったから聞いて良かったです。金次郎の本に書かれている内容が聞いてよかったです。平荘でぶどうを育てていたのは初めて知りました。
- 山本先生に二宮金次郎像のことや平荘行進曲のことを教えてもらってすごく勉強になりました。平荘行進曲のことを知りたいと思っていたのでいい機会になりました。一時間だけだったけれど、いろいろなことを知ることができて本当に良かったなと思いました。
- 私は、二宮金次郎の持っている本が「大学」ということがわかりました。平荘行進曲が9番まであるのを初めて知ったし、曲のリズムがいいなと思いました。
- 平荘行進曲のリズムがわからなかったけれど、わかると、すごくリズムに乗りやすいなと思いました。二宮金次郎の読んでいる本の内容がわかって面白かったです。
- 平荘小学校の歴史や二宮金次郎さんのことについてなど、色々なことが知れてよかったです。
- 平荘小学校の昔の事が知れて良かったです。
- 二宮金次郎の読んでいた本が知れて良かったです。「大学」という中国の本の内容が知れて良かったです。「其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ。」という言葉覚え、忘れないようにしようと思いました。
- 平荘行進曲が九番目まであったのがビックリしたし、歌詞に地区の名前が入っているのもいいなと思いました。
- 二宮金次郎が二宮尊徳という名前だったことを初めて知って、そうだったんだとびっくりしました。いつも友達と帰る時に、集合場所としてよく見えていました。正面に漢字が書かれていたのは、知っていたけれどあのような言葉が書かれていたのは知らなかったの、またじっくりと見たいと思いました。二宮金次郎の読んでいる本の内容なんて気にしていなかったの、「大学」という本を、またもっとじっくり読んでみたいなと思いました。二宮金次郎の像を毎日見ているけれど、じっくりは見ていなかったのでもっとこれからゆっくり見てみたいです。
- 二宮金次郎像に文字が書いてあることは知らなかったし、「論語」や、「大学」などの、ためになる話(言葉)を知って楽しかったし、面白かったです。
- 山本先生には、平荘小学校にある二宮金次郎の本に書いてある「大学」について教えていただきました。そして、僕もとても勉強になりました。平荘メモリーズの話で、平荘小学校の後ろの山は印南山であること等、たくさんことがわかりました。色々なことを教えてくださってありがとうございました。